

大学名：横浜国立大学 「横浜国立大学・横浜市立大学連携留学生就職サポートプログラム in YOKOHAMA・KANAGAWA」

事業開始2年間で横浜国立大学・横浜市立大学、横浜市、経済団体、国際交流団体等が連携し、横浜市の企業を中心としたインターンシップ、関連諸機関が連携したキャリア教育、日本語教育プログラムを「横浜モデル」として確立し、市内他大学（横浜市内大学・都市パートナーシップ協議会）へ対象範囲を広げます。同時に、神奈川県域の大学、自治体、経済団体が参加する「かながわ留学生就職支援コンソーシアム」と連携し、3年目以降はさらなる検証、改良を加え、順次県域に拡張するという現実的かつ有効なモデルです。



実施内容

① 日本語教育プログラム（ビジネス日本語教育）

- ◎ 既存プログラム（レベル6段階）を充実させて活用
- ◎ 新たなビジネス日本語プログラムの開発
- ◎ 大学のサテライトキャンパスを活用した土曜日講義、夏季・春季の集中講義の実施（他大学への展開）等

② キャリア教育プログラム

- ◎ 日本の企業文化の基礎を学ぶ科目など、学年の進行に合わせたプログラムの構築
- ◎ 市民ボランティア「チューター制度」の活用
- ◎ 日本人学生のキャリア教育（グローバル化の推進）につながるプログラムの構築 等

③ インターンシップ・プログラム

- ◎ 実務を体験する就労型インターンシップ・プログラムの構築
- ◎ インターンシップの事前研修会及びフォローアップ研修会の開催
- ◎ コーディネーター（大学が雇入れ）による受入先の開拓 等

④ 企業対象プログラム

- ◎ 採用企業またはインターンシップ受入企業の実例集の作成・配付
- ◎ 企業向けセミナーの開催 等

期間：平成29年度～平成33年度（5か年）

目標：日本企業への就職率：現状の30% → 50%

横浜モデルを2年目までに確立
3年目からは神奈川県内大学、市町村に
○プログラムの提供
○実施ノウハウを提供